

協働事業プロセス相互検証シート

1 事業計画段階

【共有できたことや認識に違いがあったこと】

- ・拠点利用者のニーズを定例会にて共有した。
- ・子育て支援連絡会については、事務局として方向性をともに検討することができた。
- ・具体的な役割分担について話し合いは不十分な点があった。
- ・拠点と連携出来そうな事業についての情報共有が不足していた。

【今後改善が必要と思われること】

- ・利用者のニーズを事業に展開したり、随時方向性を話し合いながら修正を行う。
- ・事業計画について発信方法や内容について地域へ向け広く周知をする。
- ・役割分担確認表を、定例会の場等でともに確認し、お互いの具体的な役割分担を行う。
- ・拠点と連携できそうな事業について、区からも適宜情報提供を行う。

2 事業実施段階

【共有できたことや認識に違いがあったこと】

- ・事業の目的と評価方法をともに確認し、事業を進めることが出来た。
- ・事業終了後の見通しを持ちながら話し合いを進めることが不足していた。
- ・他課、他機関との連携の必要性をともに確認し、お互いの役割や強みを活かしながら事業を進めることが出来た。

【今後改善が必要と思われること】

- ・初めて行う事業に関しては、区も一緒に参加し、定例会等で率直な意見交換と事業の振り返りを行う。
- ・事業終了後の見通しを持ちながら話し合いを進めていく。

3 事業の振り返り段階

【共有できたことや認識に違いがあったこと】

- ・単独実施ではなく、区と拠点が協働することの効果共有できた。
- ・事業実施後の評価について、情報共有までは出来ているが結果の分析が不十分だった。

【今後改善が必要と思われること】

- ・定例会の場を活用し、事業終了後に取組経過の確認と目的を達成したかについて、評価指標(計画段階での共通認識)を用いて相互に振り返りを行う。